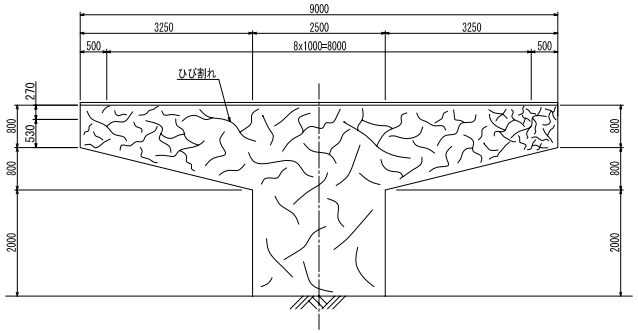
橋脚補修要領図（ASRリチウム工法）

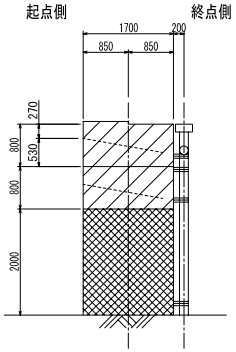
ひび割れ変状図

正面図（起点側）S=1:50

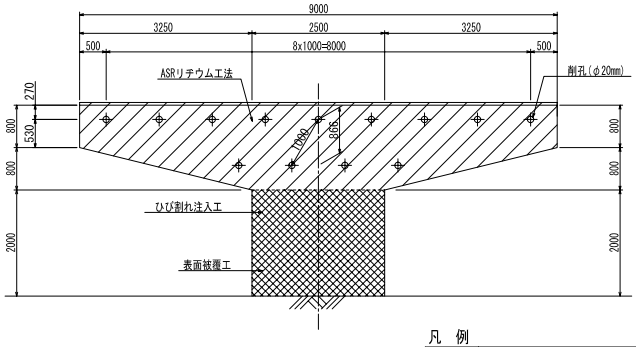


補修対策図

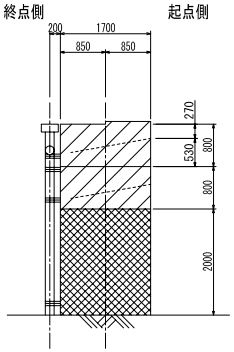
側面図（左側）S=1:50



正面図（起点側）S=1:50



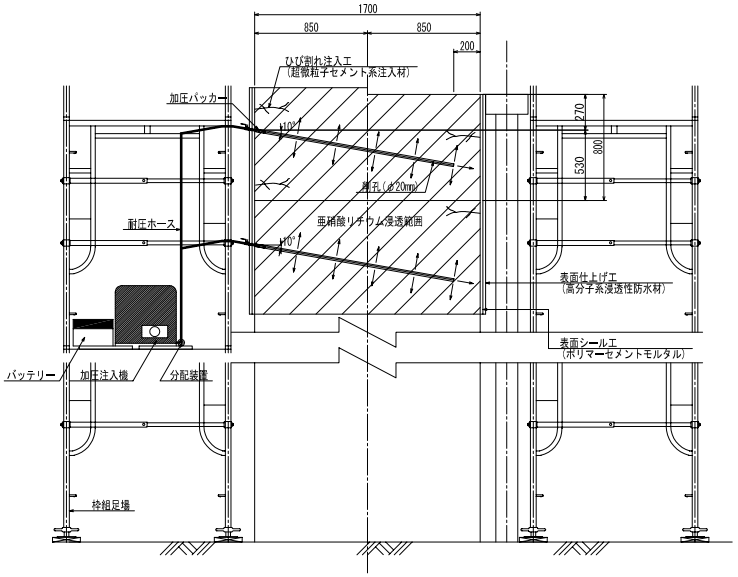
側面図（右側）S=1:50



凡例

⌖	圧入孔削孔位置
	ASRリチウム工法
	ひび割れ注入工 表面被覆工

はり部 補修要領 S=1:20
（ASRリチウム工法）

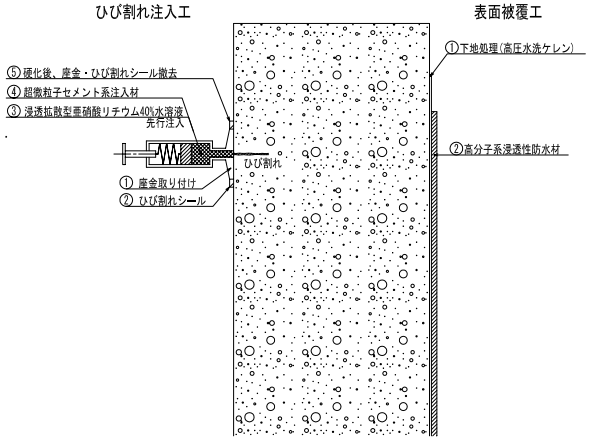


ASRリチウム工法施工フロー

開　始	
準　備　工	
既設塗膜撤去工	
下地処理工	高圧水洗ケレン
事前調査工	ひびわれ延長 圧縮強度・静弾性係数 アルカリ含有量試験
ひび割れ注入工	表面漏出防止 超微粒子セメント系注入材
表面シール工	表面漏出防止 ポリマーセメントモルタル
鉄筋探査工	
圧入孔削孔工	φ20ダイヤモンドドリル削孔
加圧パッカー装着	
試験加圧注入工	各注入孔の注入速度確認 不適合孔の検出
本加圧注入工	各圧入孔に必要量の抑制剤注入
浸透確認工	
圧入孔埋戻し工	無収縮グラウトにて圧入孔修復
養　生　工	
表面ケレン工	ディスクサンダーケレン
表面仕上工	天端：防水塗装 側面：高分子系浸透性防水材
後片付け工	
完　了	

注記）・圧入孔削孔位置及び本数は、既設鉄筋探査の後に最終決定する事。
・ひび割れ幅、延長は、事前調査工の結果を元に最終決定する事。
・垂硝酸リチウム設計注入量は、アルカリ含有量試験結果を元に最終決定する事。
・使用する垂硝酸リチウムは、浸透拡散型垂硝酸リチウム「プロコン４０」相当品とする。。

柱部 補修要領
（ひび割れ注入工・表面被覆工）



工事名			
図面名	橋脚補修要領図 （ASRリチウム工法）		
年月日	平成　年　月　日		
尺　度	図　示	図面番号	葉之内
会社名			
事務所名			